

マキノ病院ニュース

新型コロナウイルス感染症の

地域医療へ与えた影響

院長 西村 彰一

昨年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。昨年末に日本に上陸したオミクロン株は、年が明けると全国的に凄まじい勢いで感染拡大しました。滋賀県では一日の感染者数が1000人を超える日があり、しばらくは感染者数の高止まりの状態が続きました。最近になり、ようやく感染減少に転じましたが、未だ終息の見込みがたっていない状況です。このような中で、多くの施設、学校、事業所などでクラスターが発生しました。滋賀県内においても3月末の時点で延べ40近くの医療機関でクラスターが発生しております。当院においても、1月末にクラスターが発生し、一般病床での新型コロナウイルス感染者様の治療を余儀なくされました。一時期新規入院の受け入れ停止、外来スタッフを病棟に派遣する必要があったために外来診療を停止するという苦渋の選択を迫られました。昨年までは新型コロナウイルス感染症の患者様は感染症指定病院での入院となっておりましたが、感染病床が求められなくなりました。幸いオミクロン株の重症化率がさほど高くなかったため、一般病院での診療が何とか出来た状況でした。

このような事態が発生し、地域の住民の皆様には多大なるご迷惑、ご心配をおかけしました事、紙面をお借りしてお詫び申し上げます。2月末より新規入院の受け入れを再開しましたが、入院患者様全員にPCR検査を行い、同室者への感染防止のため原則入院後はしばらく個室での健康観察期間を置くなど、これまで以上に感染管理のレベルを上げて対応しております。

全国的にも新型コロナウイルスの感染拡大は、コロナ感染者の診療のみならず、それ以外の疾患の診療にも大きな影響が出ております。また受診控え、検査控えが病気の早期発見に影響を与えていることも懸念されます。今後、何らかの打開策が必要と考えます。その一つとして、現在の隔離処置が必要な2類感染症相当から、インフルエンザと同じ5類感染症への引き下げが言われています。これが実現できればコロナ患者を受け入れることによる診療制限の問題や、社会経済活動の制限の問題も解決すると考えられます。そのためには今後出現

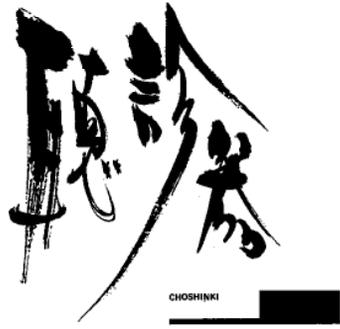
する新たな変異株の重症化率が高くないことの見極めが必要ですが、より効果的な使いやすいつい経口コロナ治療薬の開発等で、重症化率を低く抑えることが可能となれば、5類感染症への引き下げは可能となると考えられます。

新型コロナウイルス感染症の問題や国外ではウクライナ情勢など閉塞感のある状況ですが、4月は新年度のスタートの時期です。新年度は明るく前向きな気持ちで臨みたいものです。当院では看護師6名、リハビリ職員2名の新入職員を迎えます。新たな力を得て、地域住民の皆様への安心・信頼・満足を得られる病院づくりを目指して、職員一同努力して参ります。皆様のより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

診療科のご案内
 内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科・総合診療科
 肛門外科・泌尿器科・リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
 【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —
 平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00
 滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099
 ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>

ドクターコーナー



新型コロナウイルスの感染拡大により、巣ごもり生活となり、自宅で飲酒する機会が増えていると言われています。外出自粛や在宅勤務などで時間を気にせず飲めるため、ついつい飲酒量が増えてしまうことが懸念されています。総務省統計局が発表した家計調査によると、家庭の酒類の消費は増加しており、特に緊急事態宣言中であった昨年4〜5月は前年比で約25%増となつて

います。

お酒は適量であれば、人間関係の円滑化などの社会的効用に加え、血行を促進し、精神的ストレスの発散、動脈硬化を予防するHDLコレステロールの増加などの医学的効用があります。

しかし、飲酒が過度になると肝障害、

お酒と上手につきあいましょう！

内科 児玉 常憲

害、膵炎、脂質異常症、高尿酸血症、高血圧症などの生活習慣病や、脳の萎縮の促進による認知症や口腔がん、咽頭・喉頭がん、食道がん、肝臓がん、乳がんなどが発症しやすくなることなどがわかっています。また、飲酒に喫煙が加わると、がん発症のリスクがさらに高くなります。

- これまでの調査結果をみると、日本酒換算で平均1日2合を超える飲酒者では、様々な健康障害を引き起こしやすくなることがわかっています。長期的にみると、脳卒中や肝硬変を起す率が高くなります。飲酒量を減らすための工夫として、以下の10か条をおススメします。
- ①マイペースで、ゆっくり飲む（人にも無理やり勧めない）
 - ②食べながら飲む
 - ③はしご酒は控える
 - ④家にお酒の買い置きはしない
 - ⑤まわりの人に節酒していることを公言する
 - ⑥休肝日をもうける（飲まない曜

- ⑦日を決める、週2日間等）自分からは誘わない（どうしても飲まないといけない時だけに絞る）
- ⑧飲酒日記をつけ、自分の飲酒量や飲酒日数などの飲酒パターンを把握する
- ⑨飲みたくなるような場所に近づかない
- ⑩お酒以外の楽しみ（趣味）をみつける

注意事項：適量の飲酒なら大丈夫というのは、あくまでも健康障害を引き起こしていない方にあてはまることです。

たとえば、すでに肝臓病になっている方や肝機能が低下している方、血圧の高いい方は飲酒を極力控えなくてははいけません。

参考文献：
 大阪がん循環器病予防センター
 一気になる病気・健康のこと

日本酒一合に相当するアルコール量

日本酒1合	ワイン	ビール	焼酎	ウイスキー
180ml	グラス2杯強 200ml	540ml	108ml	ダブル1杯強 67.5ml